

所沢市民文化センターミュージズ・ホールオルガニストがオルガンの“今”を発信！

# MUSE オルガン通信

2023年5月

皆様こんにちは。第4代ミュージズ・ホールオルガニストの三原麻里です。2020年以來、海外オルガニストによる公演がなく、ずっと楽しみにしていらした方も多いのではないのでしょうか。満を持して、今年6月に世界的オルガニスト オリヴィエ・ラトリーがミュージズに初登場します。この記事を読んで、さらにコンサートをお楽しみいただけたら嬉しいです！！

## オリヴィエ・ラトリー

6/25 公演の  
聴きどころ

パリ・ノートルダム大聖堂の正オルガニストがミュージズ初登場！

### パリの中心、ノートルダム大聖堂

パリを流れるセーヌ川の中洲・シテ島にノートルダム大聖堂は建っています。地理的にも音楽的にも、文字通りパリの中心にあるノートルダム大聖堂。その正オルガニストに若干23歳で就任したオリヴィエ・ラトリーは、今もなお世界のオルガン界トッププレイヤーとしてオルガンシーンを牽引しています。



撮影：三原麻里



©Devan Parouchev

#### Profile

#### オリヴィエ・ラトリー [オルガン]

23歳の若さでノートルダム大聖堂の正オルガニストに任命され、2012年よりモントリオール響の名誉オルガニストを務めている。50カ国以上でコンサートを行い、“即興演奏”の第一人者としても高い評価を集め、世界の頂点に君臨する天才オルガニスト。待望のミュージズ初登場。

ラトリーが正オルガニストをつとめる世界遺産のノートルダム大聖堂。カヴァイエ=コルが製作した美しいオルガンでも知られる。

2023年6月25日[日] 15時開演 オリヴィエ・ラトリー[オルガン] \好評発売中/ 公演詳細⇒

プログラムなど詳細はちらし、ミュージズHPをご覧ください。



# 超絶テクニックと色彩豊かな音色の選択に注目!!



ラトリーは長い手足を縦横無尽に動かし、難曲も軽々と弾きこなしてしまうテクニックの持ち主。そして経験豊富な彼が選ぶレジストレーション（音色の組み合わせのこと）は緻密で色彩豊かです。プログラム前半に据えられた、ワーグナーやリスト、サン＝サーンスなどの編曲作品は、彼のテクニックとレジストレーションの粋を余すことなく堪能できるでしょう。ミュズのオルガンからラトリーがどのような音色を引き出すのか…！とても楽しみです。



2020年オーバーホールを終えたアークホールのオルガン。日本有数の規模を誇り75種の音色、5563本のパイプを有する。

フランスのオルガン曲といえばこれ!!

## 魅惑のメロディーと華やかな技巧

ヴィドール（1844-1937）は、日本ではあまり知られていない作曲家ですが、フランスのオルガン音楽といえばこの人！と言える作曲家の1人です。彼は巨大化したパイプオルガンの機能を「これでもか！」と言わんばかりに活用した『オルガン交響曲』というジャンルを確立しました。第5番は魅惑的なメロディーと、華やかな技巧が織り込まれた代表曲です。オルガンらしい荘厳な響きを堪能したい方に、ぜひ聞いて頂きたい一曲です。



シャルル＝マリー・ヴィドール

## 聴き逃してはいけない即興！

フランスで五指に入る即興演奏の名手でもあるラトリー。ノートルダム大聖堂では礼拝の中でその場の雰囲気・進行や、その日歌われる讃美歌などに合わせて、ラトリーが必要な音楽を即興で演奏するのですが、その即興演奏が実にゴージャス！空気を一変させる即興演奏をお聴き逃しなく！！

今回は、原田真侑さんがお送りします。どうぞお楽しみに♪

ミュズ・ホールオルガニスト  
三原 麻里 Mari Mihara

東京藝術大学オルガン科および、同大学院修了。平成25年度文化庁新進芸術家海外研修員としてフランスで研鑽を積む。2012年、第23回シャルトル国際オルガンコンクール優勝で世界の注目を集めた。ヨーロッパ各地のオルガンフェスティバルに招待され演奏ツアーを行っている。

